

# ヴァイオリンと フォルテピアノの おしゃべり

18世紀後半の/時代

2026 10/31 SAT

17:00 開演 (16:30 開場)

@ 北とぴあ  
つつじホール

JR 京浜東北線・東京メトロ南北線  
「王子」駅徒歩2分

全席自由(税込)

一般 4000円

学生 (30歳以下) 2000円

北区民割引 3500円

(前売り価格。一般・学生の当日券は+500円)

フォルテピアノ  
見玉真子

ヒストリカル  
ヴァイオリン  
長山恵理子



1795年製ワルターのコピー  
(2023年太田垣至氏製作)

## PROGRAM

- フランツィスカ・ルブラン：ヴァイオリン・ソナタ 作品1-6 ニ長調
- ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：  
ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K.304、ヴァイオリン・ソナタ ト長調 K.379
- マルガレーテ・ダンツィ：ソナタ 変ホ長調 作品1-1
- ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：  
ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 作品30-2

前売りチケット販売・お問い合わせ

全席自由  
(税込)

一般 4000円 学生 (30歳以下) 2000円 北区民割引 3500円

当日券は +500円

前売りのみ

ほくとぴあ  
チケットオンライン  
https://p-ticket.jp/kitabunka



北とぴあ1階チケット売場

(窓口のみ/10:00 ~ 20:00  
臨時休館日~18:00 全館休館日は休業)

makokodama0513@gmail.com  
(児玉 お問い合わせ・ご予約)

090-9225-2190

なるべくメールにてご連絡ください。

北区民割引	東京都北区にお住まいの方は割引価格で購入できます。(web・窓口合わせてお一人様4枚まで) 窓口では北区在住を確認できるもの(免許証など)をご提示ください。前売りのみ。	ほくとぴあ チケットオンライン (要事前登録)・ 北とぴあ1階 チケット売場のみ。
セット割引	同日14:00開演の「栄光のヴェネツィア—水の都に響く16世紀の音楽」と 前売同時購入に限り500円引き(学生券を除く)。公演詳細は下記二次元コード参照。	

一般発売 7月16日(木) 10:00 ~ 北区民先行 (webのみ) 7月13日(月) 10:00 ~ 15日(水) 23:59

※北区民先行はほくとぴあ(webのみ/要事前登録)のみ。北区民登録まで最大5営業日程度かかります。お一人様4枚まで、予定枚数がなくなり次第終了。※学生の方は当日学生証をご提示ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子でご来場の方は、チケットをお求めのうえ、事前に(公財)北区文化振興財団 TEL 03-5390-1221(平日9:00~17:00)までご連絡ください。

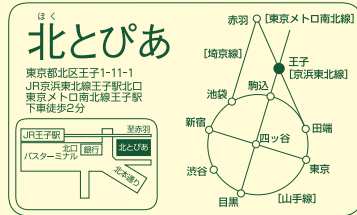


@北とぴあ つつじホール

(JR京浜東北線・東京メトロ南北線「王子」駅徒歩2分)



全公演の情報はこちら▷



長山恵理子 (ヒストリカル・ヴァイオリン)

桐朋学園大学にて原田幸一郎氏に、英国王立音楽院にてジェルジ・パウク氏のもとで研鑽を積み、修士課程をDistinctionで修了、DipRAMほか各賞を受賞。デン・ハーグ王立音楽院では寺神戸亮氏のもとヒストリカル・ヴァイオリンを学び、同課程もDistinctionで修了。第10回トロンドハイム国際室内楽コンクール ピアノ三重奏部門にて第3位、聴衆賞およびコンクール委嘱曲賞を受賞(トリオ・オパール)。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。2019~23年ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団第1ヴァイオリン奏者として英国国内外で多数公演に参加し、主要音楽祭にも出演。現在も同団およびロンドン・フィルハーモニー管弦楽団にゲスト団員として出演。これまでに、第32回青山音楽賞バロックザール賞、Fonds KCよりWillem Bouman Grant等を受賞。アンサンブル《Il Parrasio》のメンバーとして第29回ボンポルティ国際古楽コンクールにて最高位及び聴衆特別賞を受賞。更に、第1回ジョヴァンニ・レグレンツィ国際コンクールにおいて、満場一致による第1位および聴衆賞を受賞した。パッサ・コレギウム・ジャパン欧州ツアーやエイジ・オブ・インライトメント管弦楽団 Experience Scheme などに参加、モダン・ヒストリカル双方の奏法で幅広く活動している。使用楽器はLeopold Widhalm製(ニュルンベルク、1747-86年頃)のヒストリカル・ヴァイオリン。好きなことは、花を見る、旅をする、そして美味しいものを食べる。

児玉真子 (フォルテピアノ)

岐阜県各務原市生まれ。名古屋市立菊里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学ピアノ科を卒業後、2018年にロータリー財団の奨学金を得てドイツへ。2020年ドレスデン音楽大学ピアノ科修士課程、2022年ライプツィヒ演劇音楽大学古楽科修士課程フォルテピアノ専攻を修了した。2021年よりオランダ・ハーグに拠点を移し、2025年まで王立音楽院にてBart van Oort, Petra Somlai, Richard Egarr 各氏のもとでフォルテピアノを研鑽。ヨーロッパと日本で演奏活動を展開している。2022~2025年度Adriana Jacoba Fund Awards受賞。2025年10月にはライプツィヒのグラッシー楽器博物館にてシューベルト作品のCD録音を行い、同プロジェクトのためのクラウドファンディングを成功させた。2024年秋より、Leiden University of Applied Sciences客員講師。好きなものはコーヒー、蕎麦、お酒、実家のイングリッシュブルドッグの「こふく」とバグの「こきち」。

太田垣 至 (フォルテピアノ製作・修復)

フォルテピアノヤマモトコレクション、久保田チェンバロ工房、C.クラーク(仏)、A.ツェルニン(奥)、フィンチコックス博物館(英)、エドウィン・ブント(蘭)にてフォルテピアノ製作、修復技術を研鑽。国立音楽大学楽器学資料館、浜松市楽器博物館、河合楽器歴史資料室の鍵盤楽器の管理を任されている。国立音楽大学講師。

・太田垣至さんを迎え、楽器についての「おしゃべり」もお届けします。どうぞお楽しみみに！

ヴァイオリンとフォルテピアノが、おしゃべりのように音を紡ぎます。18世紀後半のソナタには、